



2019・12・21

第 360 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

あの惨禍、二度と繰り返えさせない！

太平洋戦争開戦 78 年に決意新た

【名古屋市／7 地域九条の会】 太平洋戦争開戦から 78 年になる 8 日、名古屋市内で 7 つの地域九条の会が共催し、「第 14 回 平和のともしびウォーク」を開催しました。夜の冷たい風が吹くなか、430 人が参加し、平和の願いを込めて歩きました。

参加者は、市内 4 コースから、手づくりの「ともしび」を持って全体集会が行われる千種区・今池西公園をめざしました。

全体集会では主催者を代表し、名東九条の会の渡辺武夫事務局長が、「平和への思いを持って多くの人が集まった。この力を大きく広げ、戦争する国づくりを止めよう」と訴えました。天白区の岩佐佳代子さんは、同区でもともしびウォーク実行委員会が結成されたことを報告、「夕方に独自で区内行進し 80 人が集まった。あまりにひどい政治に、黙ってはいられない」と語りました。参加者は、「12 月 8 日は不戦の誓いを新たにする日。大きな世論でアベ政権を退陣に追い込み、憲法が生かされる新しい政治を実現しよう」とのアピールを採択しました。

改憲世論盛り上げへあの手この手

安倍首相の「任期内改憲」表明を受けて自民党は改憲世論盛り上げに必死です。党の改憲推進遊説・組織委員会や政調会は改憲をテーマに各地で講演会や地方政調会を開き、人材育成をめざす党の政治大学院は 1 月から憲法連続講座を開きます。女性局は女性向けのパンフ作成や青年局と共催で憲法学習会を企画しています。自民党としては、都道府県組織や所属議員に安倍首相の改憲メッセージ動画を送っています。

こうしたなかで二階幹事長は「自民党の議員には、それぞれの選挙区で、憲法問題で議論を呼び起こすチャンスがあれば、しっかり対応してもらいたい」とハッパをかけ、麻生副総理は、「首相が本気で憲法改正をやるなら、総裁 4 選も辞さない覚悟で」と総裁任期延長論まで出しています。

ねらいは来年の通常国会で国民投票法改正を実現し、改憲論議に入ることです。

【新署名運動について事務局の見解】

安部 9 条改憲 NO！全国市民アクションの「改憲発議に反対する全国緊急署名」の取り組みについては 4 頁ご参照を…事務局

【青森県／青森県九条の会等 8 団体】 8 日、青森市で「アベ 9 条改憲は許さない！青森市民集会・デモ」が行われ、「桜を見る会」問題の徹底究明を求める緊急アピールと「安倍改憲阻止、安倍政権退陣」へたたかい抜く集会アピールを採択しました。青森県九条の会、市民連合あおもり、日本共産党、社民党など 12 団体が共催したもの。

寒風の中、駅前公園で行われた市民集会。130 人の参加者は「憲法 9 条を守ろう」のプラカードやノボリを掲げ、「二度と戦争を繰り返さない」と誓いあいました。

県九条の会の赤平泰衛共同代表は「戦争の道を狙う安倍改憲を阻止し、『桜散る選挙』に追い込もう」とあいさつ。市民連合の大竹進氏は「9 条を実践してきた中村哲さんの遺志を継いで行動し安倍政権をレッドカードで一発退場へ」と力を込めました。

署名目標達成！さらに上積みへ

【前橋市／南橋地区九条の会】 11 月 16 日、南橋地区九条の会は南橋市民アクションとして目標にしていた 3000 筆署名を達成しました。民医連、新婦人その他多くの方たちと一緒に粘り強く地域を訪問して訴えてきた結果です。

私たちは南橋市民アクションの市民目標をさらに 1000 筆追加して 4000 筆とします。この目標を達成するために、一人でも多くの方の署名活動への参加をめざします。改憲勢力は私たちと同じように賛成署名を着々と集めているとのこと、私たちも初心に立ち返って活動を力強くすすめます。

（「南橋地区九条の会ニュース」NO.127）

参加者を増やし署名目標達成へ

【山形県／山形県九条の会】 15 日、山形市内で交流会を開いて運動の経験を交流し、今後の運動について意見交換しました。

高木紘一会長は、改憲阻止のためには、9 条を守れだけでなく安倍政権打倒をめざそうと述べました。

清野真人事務局長は「3000 万人署名運動を県内目標の 6 割まで到達した。思い切って運動を広げよう」と提案しました。

山形市西部九条の会は、高校生と「将来政治家になって戦争のない世界にしたい」、香港からの観光客と「日本国憲法の 9 条がととても素晴らしい」、現職自衛官と「9 条を守ることは賛成だが署名は禁止されており、残念だができない」と対話したと報告。

つるおか・たがわ 9 条の会は、署名を集める人を増やす取り組みを進めて署名目標を達成。「9 条の会のない四つの地域に組織をつくる取り組みを始めた」と語りました。

九条の会運動の大切さ再確認

【横浜市神奈川区／かながわく九条の会】 12 月 4 日、九条の会の渡辺治先生を迎え「かながわく九条の会結成 11 周年のつどい」を開催し、約 170 人参加しました。

「かながわく九条の会」は、2008 年秋に結成され、以後、毎年、音楽と講演を主とした「つどい」の開催、成人の日・憲法記念日・原爆忌の署名宣伝行動、横浜大空襲の跡めぐりなどを続けてきました。現在まで改憲発議をさせていない運動の「何千分の一」を担ってきたと自負しています。

「11 周年のつどい」は、第 1 部がハープとヴァイオリンの演奏、第 2 部が渡辺治先

生の記念講演「安倍改憲をめぐる新たな情勢と九条の会の課題」でした。

渡辺先生は、公文書の隠蔽、改ざん、政治の私物化を続ける安倍政権がなぜ選挙で勝ち続けるのか、具体的な資料をもとに示され、最後に、改憲勢力3分の2を崩した運動の力に確信を持つと同時に、安倍改憲の息の根をとめるため、「改めて署名と学習を柱に、足を踏み出そう」と訴えられました。

参加者アンケートにも「わかりやすいお話で元気が出ました」「選挙分析は、疑問がとけました」「九条の会の活動の大切さを痛感」などの意見が多数見られました。

結成から11年。結集する方たちもその分年を取りましたが、まだまだ健在です。(かながわく九条の会事務局長 小林孝生)

民衆の力で安倍内閣総辞職へ

【熊本県／くまもと九条の会】 7日、熊本市で会発足15年の集会を開きました。約200人が参加し、まずドキュメンタリー映画「不思議なクニの憲法」を鑑賞しました。

大阪大学名誉教授で会代表の猪飼隆明氏が、腐敗し憲法改悪に血道を上げる安倍政権を倒し、「民衆の力で総辞職に追い込んだ桂太郎内閣打倒にならぶ歴史的イベントを国民の力でつくろう」とあいさつ。弁護士で同よびかけ人の田尻和子氏は「道理なき改悪を許さないのは未来への責任」と結びました。

参加した金津紀代さんは映画について「憲法の素晴らしさを生かせるよう条文の実現を市民の側から国につきつけていく必要性を改めて感じました」と話しました。

市民と野党の共闘で安倍退陣へ

【青森市・八戸市／県・6地域九条の会、県市町村長九条の会】 「市民と野党の共闘で安倍改憲阻止、安倍政権を退陣へ」一。総がかり行動実行委員会共同代表の高田健氏を迎えた憲法講演会が青森市（14日）と八戸市（15日）で行われました。主催は、青森県九条の会、県・市町村長九条の会と県内の6地域の9条の会。

青森市では、どしゃぶりの雨が降る悪天候の中、県内各地から100人が足を運びました。高田氏は、安倍首相が狙っていた臨時国会での改憲案提示や憲法審査会での討議もできなかったのは、「政治腐敗、権力私物化を許さない」と“ワンチーム”で「桜を見る会」問題を追及した野党の結束と、世論の声だと強調し、今年の参院選や埼玉、岩手、高知の各県知事選までの共闘の力を示し、「来年は、これまでのがんばりを生かす重要な年。私たちが結束すれば、安倍改憲阻止、安倍退陣は可能」と強調しました。

熱心にメモを取っていた女性（34）は、「『安倍退陣はできる』の言葉に感動した。政治を変えようとたたかってきた先輩たちに私も続いていきたい」と語りました。

憲法を根付かせる運動めざし

【高崎市／城東・塚沢地区九条の会】 第3回総会、11月24日城東公民館で開催。フラワーデモ群馬発起人田嶋さんの話を聞きました。「性被害当事者が自身の体験を言葉にして語ることで暴力に寛容な現代社会の在り方を問い続けたい」。

その他参加者の発言から…Aさんは障害者教育に携わる中で、憲法で旧憲法と比べ未就学障害児童を減らすことができている

と。Bさんは脱原発行動であきらめないことの大切さを知った。Cさんは先生への変形労働制の導入は、子どもたちの教育環境を壊してしまうと発言。憲法を根付かせ、守るための話し合いの場となりました。

なお、参加者18人、会員は92人、シール投票者延べ472人で改憲反対80%、署名1230筆到達。2000筆をめざすことを決めました。(特定秘密保護法廃止を求める高崎市民の会「あきらめない」第72号)

分からない形で戦争へ、の危険

【松山市／三津・高浜9条の会】 三津・高浜9条の会は3日、スーパー前で「3の日宣伝」取り組みました。参加した13人が「安倍政治を許さない」のプラスターや横断幕を掲げ、アピールしました。

田中慈照共同代表はスピーチで、1941年に地元・三津浜で撮影され、先月上映された国策映画を紹介。三津の港から戦地に向かう兵士を激励するブラスバンドに小学生たちが参加しようと奮闘するもので「非常につらい内容だった」と話し、「政府は一見、わからない形で国民を戦争に巻き込みます。今また同じ歴史が繰り返されようようにしよう」と呼びかけました。松山大学経営大学の松尾博史教授らも訴えました。

若者が期待を持てる政治に

【九条美術の会】 「第9回九条美術展」が11日から15日まで、東京・練馬区立美術館で開かれました。主催は憲法9条を守り、生かそうと願う美術家たちが集う九条美術の会です。

画家の野見山暁治さん、絵本作家の田島

征三さんら約200人が、油彩、日本画、版画、彫刻、インスタレーションなどの作品を出品しました。取り上げるテーマは、戦争と平和、表現の自由、福島原発事故の現状、沖縄の新基地建設反対、核兵器廃絶、環境問題など多岐にわたりました。

絵画の「桜を見る会」を出品した渡辺柊子さん(69)は、ピンクの花びらの隙間に紙幣を描き込み、税金の私物化とそれを隠そうとする安倍政権への怒りを表現したといます。「首相がウソをつき、若い人が希望をもてない今の政治を変えたい。改憲が狙われる中、憲法9条を大切にすることが、戦争をさせない歯止めになると思っています」と語りました。

新署名の取り組みについて

九条の会も参加する全国市民アクションが新たに作成した「安倍9条改憲NO!改憲発議に反対する全国緊急署名」について九条の会事務局は次のように対応することにしています。

①これまでの署名を目標をもってとっている「会」がその目標の達成をめざして取り組みをつづけることに何の不都合もありません。九条の会として集まった署名を国会にとどけるようにします。

②これまでの署名に一定の区切りつける新たな署名にとり組むことにも積極的な意義があります。それは、これまで署名の成果を確認したうえでより情勢に即応しつつ野党の結束をさらに強め、安倍内閣を退陣に追い込む運動の新たな広がりをつくるということになります。その意義を確認し九条の会もよびかけ団体に名をつらねました。